

# マゴソ通信



猛暑の夏がようやく終わりを告げ、空には秋の雲がたなびき、コロナ禍は続くものの一息つける日々となりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

大阪の西成区に釜ヶ崎（あいりん地区）があります。高度経済成長期から90年代まで、日雇い労働者の町でしたが、現在は高齢化が進んでおり、65歳以上の男性高齢者が41%を占め、貧困も進んでおり、生活保護受給世帯は40%に達しているところです（<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/60375>より引用）。

私は、釜ヶ崎の「いこい食堂」がやっている炊き出し（週2回から3回やっておられます。）のお手伝いに月3回位参加しています。いこい食堂は、「きつい生活を強いられる労働者の方に、少しでも安くて栄養のある食事を」ということで1970年代に始まりましたが、今では炊き出しが主となり、おにぎりや温かい具沢山の汁ものを作り、それを四角公園で配っています。お米や野菜、肉・魚・卵・調味料などは寄付していただいたものや献金していただいたお金で賄っておられるので、野菜は使えるところはすべて使い、おかまについてお米もできる限り無駄なく取ります。それが身につき、我が家の生ごみがずいぶん減りました。

炊き出しに並ぶ方は150名前後、200名を超えることもあります。ほとんどが高齢者の男性です。おにぎり1個と一杯の汁ものに、「ありがとう」、「ご苦労さん」、「次はいつ?」と言ってくるのがとてもありがたいのです。お代わりを配れるときもありますが、最後の人までぎりぎりのときには、器に入れるお汁の量が少なくなり、申し訳ない気がします。

配っているとき、マゴソスクールの給食に並ぶ子供たちの姿が重なります。マゴソスクールの給食は、朝食はウジ（シコクビエのおかゆ）、昼食はギゼリ（金時豆と白い大粒のトウモロコシを煮たもの）。土曜日とか休暇中はちょっと違うメニューになることもありますが、これがほぼ毎日です。栄養価としては決して十分なわけではないですが、大事なことは毎日給食があるということです。

釜ヶ崎やマゴソスクールのみならず、日本や世界で十分な食事ができない人がいかにたくさんいるかということに心をこめて日々の食事を頂こうと考える毎日です。

給食の経費は、サポーターの皆様が納めてくださっている会費、様々な方からの寄付金で賄っています。マゴソスクールの子供たちの元気の源は何といっても給食。今円安が急速に進行し、ケニアの物価も上昇しているため、今まで以上に給食に費用がかかるようになりました。給食募金、これからもよろしくお願いいたします。

マゴソスクールを支える会 会報担当者

## 会費の納入をよろしくお願いします！！

- 会費の領収書は発行していませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。

納入に便利な以下の方法もございます。

◆郵便貯金口座をお持ちの方は「郵便局自動送金サービス」ご利用いただけます。月額会の会費にのみご利用頂けます。郵便局にてご自身で手続きをお願い致します。

<送金先口座情報>

加入者名：マゴソスクールを支える会 口座番号：12230-33000581

◆クレジットカード

ご利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardで、「日本円」でのご請求となります。HPよりお申込みいただけます。各コースをクリックし、登録ページ（テレコムクレジット株式会社）へお進みください。お間違いのないようお願いいたします。

- 納入方法を変更された場合は、事務局までお知らせください。

## 会費・寄付振込先

【郵便局】

マゴソスクールを支える会

口座番号: 00810-9-216335

(記号: 00810 番号: 216335)

【ゆうちょ銀行】

マゴソスクールを支える会

0八九（ゼロハチキュウ）店

当座 0216335

## マゴソスクールを支える会事務局

〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: [info@magoso.jp](mailto:info@magoso.jp) HP: <http://magoso.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/magososupportersclub/>



## マゴソスクール受験生、6年生と8年生を応援してください！

会報17号でお知らせしたように、コロナ禍の学校閉鎖で失われた時間を取り戻すというケニア教育省の方針で、今年度は1年間で1年と1学期分のシラバスをカバーすることになり、3月に2021年度の全国共通テストが実施され、マゴソスクールは過去最高の成績を収めました。

その後、休む間もなく2022年度が始まり、なんと8か月で1年のシラバスをカバー、生徒も先生も休みなしでみんな頑張ってきました。

そして、この11月28日～12月1日には、2022年度の全国共通テストが実施されます。しかも今回は歴史上初めて小学校2学年が同時受験となります。

マゴソスクールで6年生51名、8年生50名が受験、さらにジュンバ・ラ・ワトトを加えると、100名以上の受験生となります。どうか皆さん彼らを応援してください！

「何しろキベラスラムでは、子どもたちの生活周辺には酔っ払いやケンカや泥棒や様々な騒動が絶えない暮らし。周りの音は筒抜けだし、狭い一部屋に家族全員でぎゅうぎゅう詰めで暮らしている密な暮らしぶり、そんな中で彼らは受験勉強に励む。朝、登校する前や、夕方下校してからあとも、水汲み、掃除、弟妹の世話、夕飯作り、家業の手伝いなど、やる事がたくさんあって忙しい。病気の親を助けている生徒もいる。

そんな中で受験勉強する秘訣は？と聞くと、『朝早く午前4時に起きて勉強すると騒音なく頭に入る』『誰よりも早く学校に来て自習する』『夢があるから頑張れる』という返事が。みんな進学させてあげたいと心から思う。

キベラスラムの場合、保護者にお金がないから、このままだとドロップアウトする子どもたちがたくさん出てしまう心配がある。何とかしたい。マゴソでイキイキと学び、おなかいっぱい給食が食べれて、仲間たちと手を取り合って前進できるこの一体感を、6年生の子たちにも失わせたくない。」と早川さんは語っています。

この受験生たちのこの先の道が開けるよう進学支援をしてくださる方を募集しています。進学支援について詳しくお知りになりたい方は、支える会のHPのトップページの支援方法から「卒業生の進学支援をするには」のページに移動してください。

### 受験生のためにサクセスカードを送っていただけませんか？

ケニアでは受験生にサクセスカードを書いてプレゼントするという習慣があります。それは、お守りのようにもなり、受験勉強をがんばっている生徒たちの大きな励みになります。

今年3月の受験生たちには、早川さんが講演をした立命館宇治中学高校と、長崎東中学校の生徒さんたちがサクセスカードを送ってくださり、それに励まされて過去最高の成績をおさめることができました。

ケニアのサクセスカードは右上のようなものですが、お手持ちのカードで大丈夫です。カードに、To the Candidates（受験生へ）、励ましのメッセージ、お名前（匿名やニックネームでも可）を書いていただき、カードは封筒に入れてください。それをさらに封筒に入れ、11月8日（火）までに以下の宛先までお送りください。カード以外のものは送れません。複数枚送ろうと思われる場合も、2、3枚までをお願いします。

〒207-0002 東京都大和市湖畔1-911-122 山下 直子様（広報担当者ではありません。）

サクセスカードについてのお問い合わせは、[tncqd15940@yahoo.co.jp](mailto:tncqd15940@yahoo.co.jp) までお願いします。このアドレスはサクセスカードについてのお問い合わせのみのアドレスです。



6年生



8年生



## メッセージの例

kenya success cards messages kcpe などの用語で検索するといろいろ見つかりますが、いくつか例をご紹介します。日本から (from Japan) と書き添えるのもいいかもしれません。

- ◇ May there be success in your exam and all your dreams come true!
- ◇ I am wishing you good luck for a bright and prosperous future and success in your KCPE exams.
- ◇ I'm not in doubt of your abilities as I know you put in your best efforts in all you do. That's why I'm confident of excellent results for you after this exam. All the best.
- ◇ I wish you the best in the coming exams; you have truly worked hard, more than anyone can imagine. You deserve the best, may success come your way, and crown the effort you have put into passing these exams.
- ◇ Do not fear or be anxious, the exam is just a test that confirms a small percentage of what you know. Do your best and you will definitely pass. Success is your coming exam.
- ◇ Success in the upcoming exams, you are a champion as you have already worked hard to achieve the best, let this examination be a simple indicator of your effort.

## マゴソニュース

### 1. 長年の努力でマゴソスクールがケニア政府に正式に認可された私立学校になりました！！

認可を得るためには教育省、保健省、ナイロビ市などの査定を受けなければならず、その査定に見合うように学校の改築、教員など人的な部分の整備、書類の準備、申請費用などが必要でした。スラムの小さな寺子屋からはじまって、ここまでの道のり、本当に長かったです。

### 2. オウィノ先生がマゴソ教頭先生に就任しました

日本の皆さんにも大人気だった長年おなじみのオギラ教頭先生は、ご本人の希望でマゴソスクールを退職しました。でもこれからもオギラ先生がマゴソスクールのお友達であることには変わりません。音楽の指導にも来て欲しいとお願いしていますが、時間が取れる時に来てくれるそうです。今後のオギラ先生のご発展を心から祝福したいと思います。

そして新教頭の選抜を、マゴソスクール教員のみんなで話し合い、満場一致でオウィノ先生が選ばれました。キベラスラムのスタディツアーに参加して下さった皆さんにとっては、オウィノ先生もおなじみだと思います。マゴソスクールで長年子どもたちを教えてくれている先生です。

オウィノ先生はケニア教育省からの国家資格を有する正式な免許を持つ教員でもあります。優しく子どもたちにも大人気の先生です。皆さん、新しい教頭先生をどうか応援してください！



写真 右：ダン校長先生 左：オウィノ教頭先生

### 3. 大阪の中学生たちの素晴らしい取り組み！

早川さんが以前から講演を行っている大阪府富田林市立金剛中学校は、国連が掲げるSDGS持続可能な開発目標を推進する取り組みを行っておられます。そのひとつとして、生徒さんたちは、マゴソスクールのために募金活動やマゴソグッズの販売などを行って下さっていました。

今年度、熱中症対策などで公立学校にも飲料の自販機設置が広がる中、2年生の学級委員が中心になりチャリティ自販機の設置を企画し、学校に交渉し、自動販売機で飲食物を販売する会社「大塚ウェルネスベンディング」に相談を持ち掛け、9月上旬に実現しました。自動販売機のアフリカらしい素敵なデザインは生徒さんたちが描いた絵をもとに作られたそうです。1本買うと10円がマゴソスクールに寄付されます！

これは是非、多くの方に知っていただきたいと思います。チャリティ自販機（寄付型自動販売機）の設置は全国規模で実施されており、設置を取り扱っている（仲介してくれる）団体もいくつかあります。



## 4. オティソ先生

オティソ先生は2010年1月にマゴソスクールに入学しました。田舎から出てきたオティソ先生に、おじさんがナイロビで勉強したほうが良いと勧めたのですが、キベラ周辺の学校は学費がかかります。その中でマゴソは学費が無料、給食もついて、よい教育が受けられるということでマゴソに入学しました。その後、日本からの奨学金を得て、高校、大学を卒業し、正式な教員資格を得て、2020年からマゴソスクールの理科系教員として働いています。休みの時には読書をしたり、ドキュメンタリーを見たりするそうですが、長期休暇のときは、他の若者グループと交流して、アドバイスをしたりしているそうです。オティソ先生は15歳のころには自分が何者かわからなかったし、夢もそれほどなかったそうです。マゴソに来て孤児の子供たちやいろいろな境遇の子供たちと接することで、人生が変わったそうです。そして、将来は自分が関わってもらったように誰かの人生に関わりたと思って、教師になったのだそうです。員資格を取得し、マゴソに戻り教員として貢献してくれています。いつもありがとう！



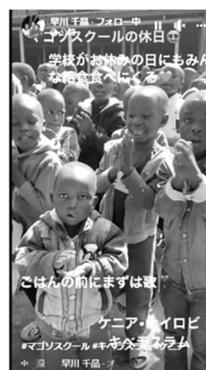
オティソ先生とマゴソスクール生徒会長とその仲間たち

## 給食費支援のお願い

給食はそもそも、マゴソスクールの子供たちたちのライフラインですから、毎日、朝昼の給食を行い、それは休みの日もおこなっています。

これまでは、家庭に食べ物が無い子供たちには昼の給食をおかわりしてタッパで持ち帰り、夕食にしていました。それにより、生活苦にある家族も助かっていました。しかし現在は食糧価格の高騰により、同じコストでは以前よりだいぶ少ない量の給食を作るしかありません。全員に行き渡るように一人当たりへの配膳の量を減らし、家に持ち帰れる余裕はほとんどなくなりました。この配膳は非常に大変な作業ですが、キッチンで働く女性たち2名とOBOGたちが采配を奮って、なんとか全員に行き渡るように調整しています。しかし状況は非常に厳しいです。円安の打撃も受けて、給食の資金が足りません。

給食費支援をよろしくお願ひいたします。



## 支える会からのお知らせとお願い

- 2022年9月現在のサポーター数は472名です。
- ご友人等にご紹介のため、パンフレット・会報等をご入用の場合は事務局までご連絡ください。
- 会報は、会員の方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、早川さんから送るよう依頼を受けた方、皆様に送らせていただいております。会報が重複して届いたり、不要な場合は事務局までお知らせいただければありがたく思います。
- 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただきます。ご了承ください。
- 専従スタッフがおりませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- 5月27日に運営委員会を開きました。早川さんからマゴソスクールの現状報告を受け、強制撤去や私立学校としての正式な認可のために建設費等の経費がかさんだことについて報告がありました。支える会としては、少なくともマゴソスクールの基本的な経費(人件費、給食費など)を支援できるよう日本での呼びかけをこれからもしっかりと取り組もうと話し合いました。
- マゴソスクールへの支援物資は、支える会では受け付けておりません。

皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。未使用切手・未使用はがき・書き損じはがきを事務局までお願いいたします。使用済み切手・外国の切手等は郵送に使用できませんので、ご注意ください。お送りくださった皆様、本当にありがとうございました。

**早川千晶さんが10月1日から11月13日まで  
ボレボレキャラバンを行っています。**

詳細は下記のURLから

[https://note.com/chiaki\\_nairobi/](https://note.com/chiaki_nairobi/)

※早川千晶さんのイベントツアーに関するお問い合わせは、  
支える会ではなく、早川さんまで直接お問い合わせください。

※早川千晶さん主催のイベントの収益はマゴソスクールへの  
寄付にはなりませんのでご注意ください。



★お問い合わせ先★  
chiakinairobi@gmail.com (早川千晶)  
twitter<https://twitter.com/chiakihayakawa>  
instagram<https://www.instagram.com/chiakihayakawa/>  
facebook<https://web.facebook.com/chiaki.hayakawa/>